

令和3年度 第2回

長岡市文化財保護審議会 次第

日時：令和4年2月17日（木曜日）

午後1時30分から午後3時まで

会場：さいわいプラザ4階 教育委員会会議室

1. 開 会

2. 教育部長挨拶

3. 報告事項等

- (1) 国指定「旧長谷川家住宅」屋根修復工事について
- (2) 令和3年度長岡西地区遺跡試掘確認調査について
- (3) 令和3年度寺泊地区遺跡試掘確認調査について

4. その他

配布資料

- ・資料1 国指定「旧長谷川家住宅」屋根修復工事 関係資料
- ・資料2 令和3年度長岡西地区遺跡試掘確認調査 関係資料
- ・資料3 令和3年度寺泊地区遺跡試掘確認調査 関係資料

参考資料

- ・古代のお金づくりチラシ
- ・郷土民俗芸能動画の配信について

令和 4 年 2 月 17 日
長岡市文化財保護審議会資料

旧長谷川家住宅の屋根工事について

1. 事業名

重要文化財旧長谷川家住宅保存修理事業（国庫補助事業）

2. 事業内容

主屋の茅葺屋根の全面葺替工事ほか

3. 事業期間

令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日（30 ヶ月）

4. 事業費

総事業費 144,974,000 円（うち国庫補助額 72,487,000 円：事業費の 50%）

今年度分 34,546,000 円（うち国庫補助額 1,723,000 円）

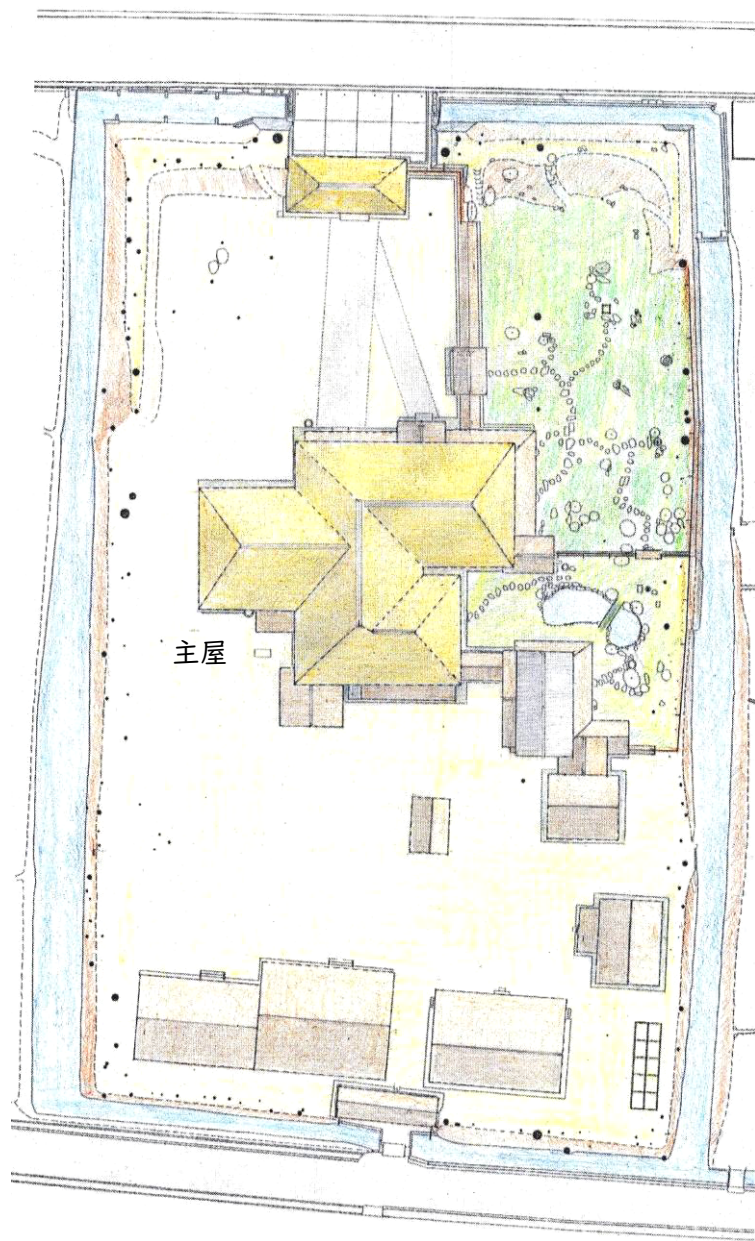
※このほか一般財源についても、国の「文化経済戦略（平成 29 年 12 月 27 日内閣官
房・文化庁策定）」を踏まえた文化財の保存・活用に係る地方財政措置として、交
付税措置の対象

5. 工事について

○重要文化財指定後に実施された根本修理（解体修理：平成元年竣工）以降、33 年ぶり
の屋根葺替となる。

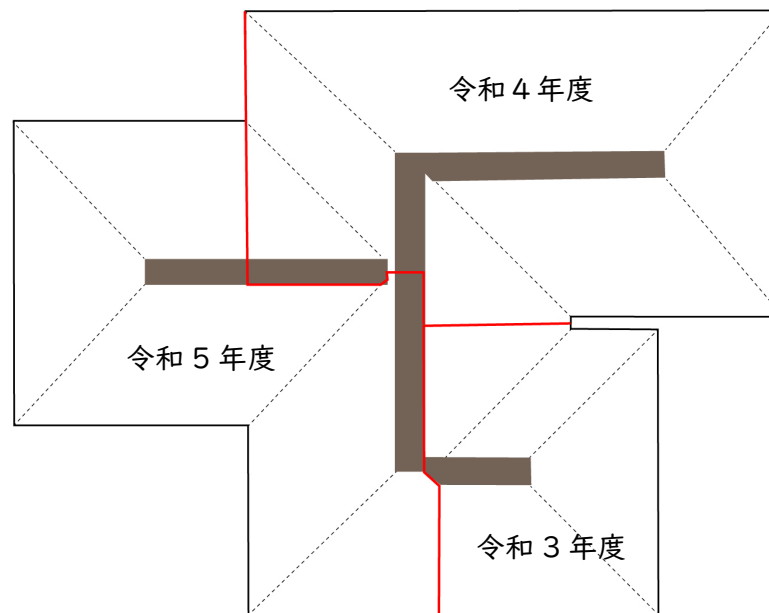
○茅材は主に魚沼（守門）から

○11 月 20 日（土）に工事見学会を開催



主屋

旧長谷川家住宅 配置図



主屋年次割図



工事の状況

長岡西地区遺跡試掘調査事業について

調査地 長岡市雲出町～関原町1丁目

調査原因 県営ほ場整備事業（対象面積 58 ha）

調査期間 令和2年10月、令和3年10月 各1か月

調査地の概要 信濃川左岸の河岸段丘の北端部周辺に広がる沖積地で、段丘が沖積地に埋没する部分にあたる。現況は水田。調査地内には、周知の遺跡として鴨鳥遺跡、関原館跡、下屋敷遺跡が位置している。

調査結果

- ・大半のトレンチは粘土層が堆積し、西半分の地域は腐植物を含むガツボ層がみられる場所もある。
- ・下屋敷遺跡の範囲では、黄褐色土層が堆積し、段丘の裾部に遺跡が位置している。
- ・鴨鳥遺跡付近は、古代・中世の遺物が出土しているが量は多くない。遺構は発見されなかった。
- ・下屋敷遺跡でも古代・中世の遺物が出土している。その中には墨書土器や漆書の土器も含まれている。また、多くのトレンチで土坑や溝、井戸とみられる遺構が発見されている。
- ・今回の調査で下屋敷遺跡の範囲を明確にできたことは大きな成果である。
- ・周知の遺跡以外は、新たな遺跡の発見はなかった。

○下屋敷遺跡の調査成果

遺跡の概要 昭和27・28年の耕地整理の際に発見された。中村孝三郎（科学博物館）によって短期間の調査が行われた。その際に大量の遺物が出土し、竪穴建物と思われる遺構も確認された。

調査原因 市道改良事業

調査期間 平成21年9月28日～11月27日

調査面積 522 m²

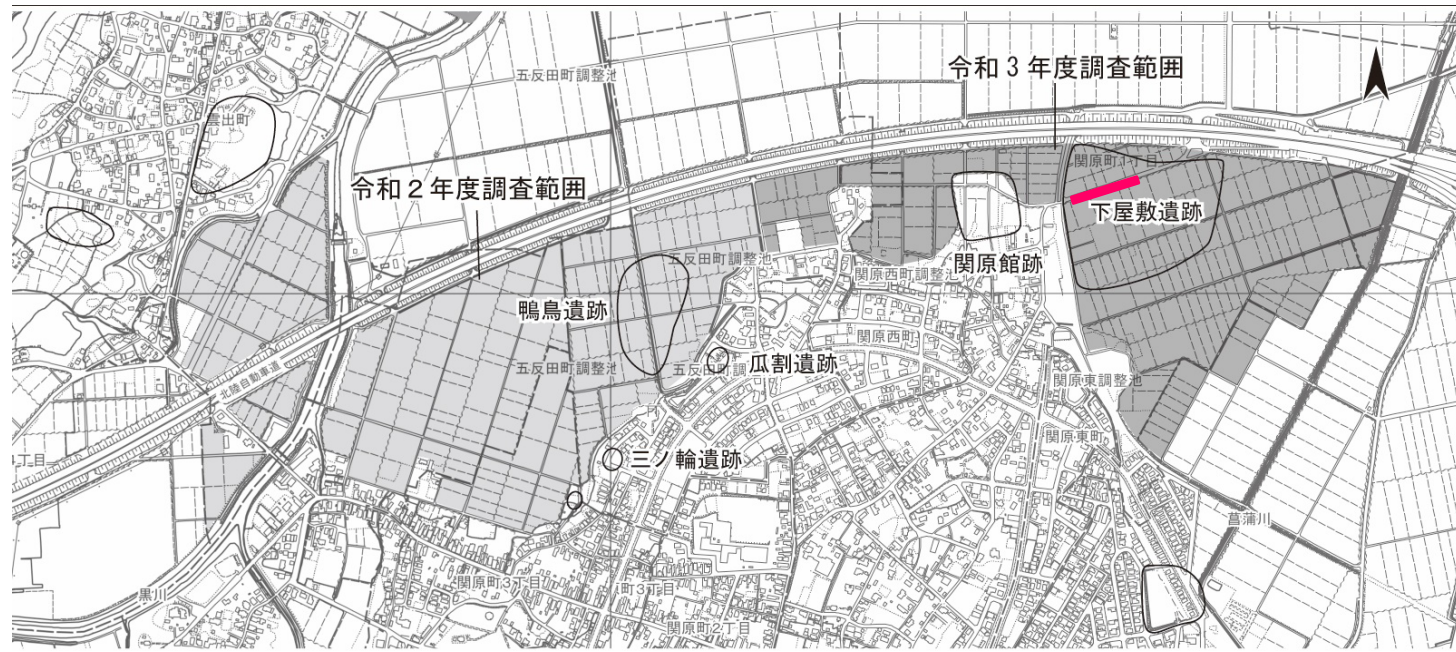
時期 平安時代（9世紀代）、中世

検出遺構 掘立柱建物、井戸、溝など

出土遺物 土師器、須恵器、珠洲焼、漆器など

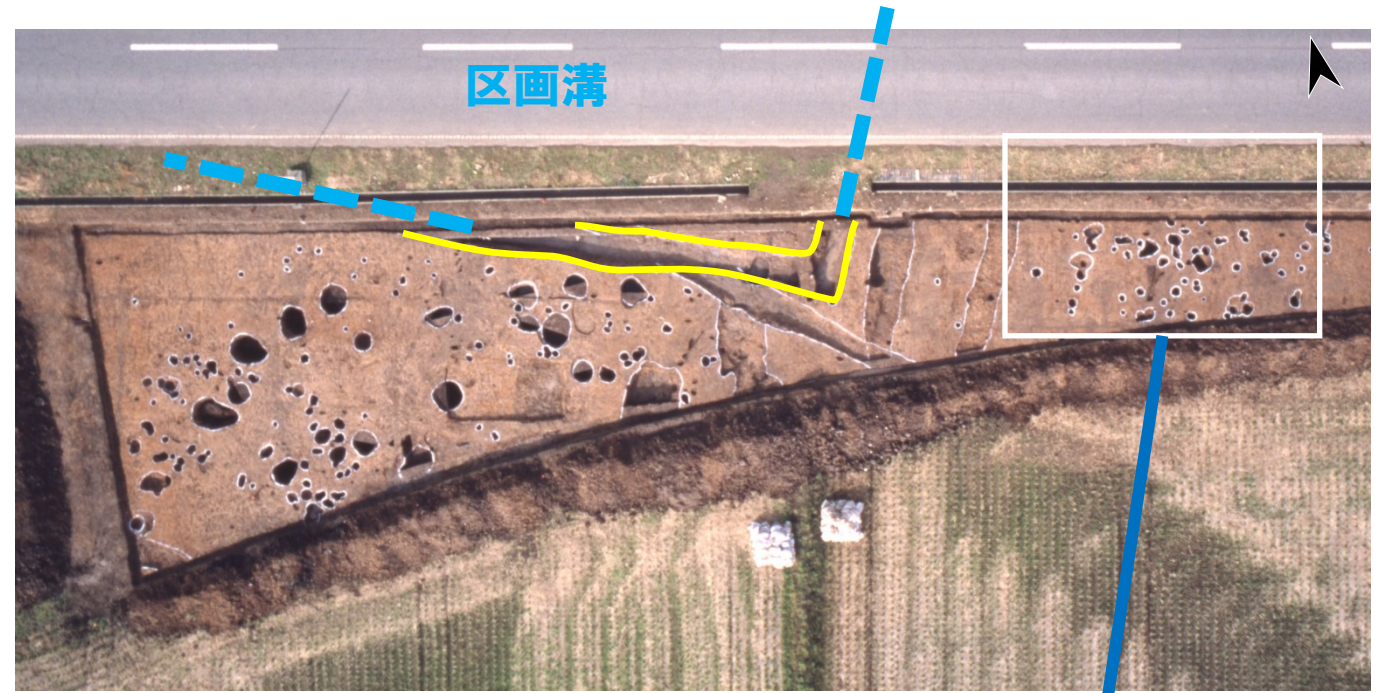
調査成果

- ・掘立柱建物が1棟確認されている。時期は不明であるが、
- ・井戸は合計24基確認された。すべて素掘りの井戸である。3基の底から漆器や木製品が出土している。漆器を出土する井戸は中世と思われるが、残りは古代か中世か判断が難しい。
- ・SD6は直角に曲がっていることから区画溝の可能性が高い。珠洲焼の片口鉢や石臼が出土していることから中世の溝と考えられる。
- ・平安時代の須恵器には墨書が書かれているが、内容までは不明。過去の調査では「田」や「上」といった文字がみられる。
- ・平安時代は、掘立柱建物を主体とした集落であったと想定される。
- ・中世は近接する関原館跡に関連した遺跡の可能性がある。



長岡西地区試掘調査範囲

■ 本調査位置



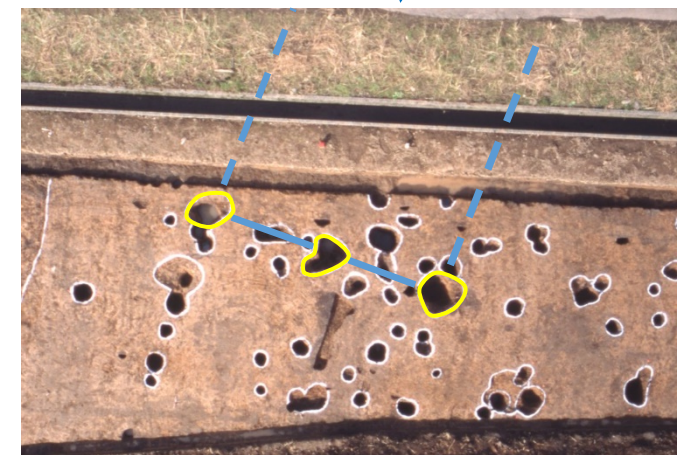
本調査平面写真



遺構検出（下屋敷遺跡範囲）



井戸



掘立柱建物



粘土層トレンチ



出土遺物



本調査出土遺物



寺泊地区遺跡試掘確認調査事業について

調査地	長岡市寺泊平野新地区（田尻・高内・万善寺・敦ケ曾根地内）
調査内容	県営経営体育成基盤整備事業（平野新地区）に伴う試掘調査
調査期間	令和3年10月1日～同年11月10日
調査主体	長岡市教育委員会
調査担当	科学博物館文化財係主査 加藤由美子
調査面積	278 m ² （1.5m×2.5m×74か所）
現況	水田・畑地
遺跡の立地	信濃川左岸の東頸城丘陵に接する沖積地
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・植物腐植土の堆積が普遍的に存在する軟弱な地盤である。ただし、敦ケ曾根寄りの調査区では粘質土層の堆積が確認でき、比較的安定した地盤であることがわかった。 ・遺構は検出されなかった。遺物は27トレンチで13世紀の青磁碗の破片が1点出土した。近接する堂山遺跡（古代・遺物包含地）からの流れ込みと考えられる。 ・今回の調査では新たな遺跡は確認できなかった。



13 トレンチ土層断面



49 トレンチ土層断面



調査風景



青磁碗破片（27 トレンチ出土）

こだい やくしよ はちまんばやしかんがいせき がくしゅうかい
古代の役所 八幡林官衙遺跡 学習会

参加者
大ぼしゅう!

こだい かね ちょうせん
古代のお金づくりに挑戦!

いま ねんまえ わしまちいき こだい やくしよ はちまんばやしかんがいせき
今から 1300 年前、和島地域にあった古代の役所 八幡林官衙遺跡
では、古代のお金が発見されています。金属を溶かして鑄型に流し
込む鑄造を体験し、古代のお金づくりに挑戦しよう!

このほか、遺跡から発見された当時の
人びとが使っていた道具など貴重なものを
展示します。

- ・参加費：無料
- ・定員：10名
- ・対象：小学生（2年生以下は保護者同伴）
- ・日時：令和3年 11月 28日（日）
9：00～11：00
- ・会場：和島保健センター
- ・講師：羽鳥 仁一さん（和島公民館）
- ・持ち物：マスク・軍手・汚れてもよい服装



はちまんばやしかんがいせき みち えき
八幡林官衙遺跡は、道の駅
ちか なら へいあんじだい
近くにある奈良・平安時代
の遺跡だよ。



なら 主
わし麻呂くん

【申し込み先】

長岡市立科学博物館 電話でお申し込みください

TEL: 0258-32-0546

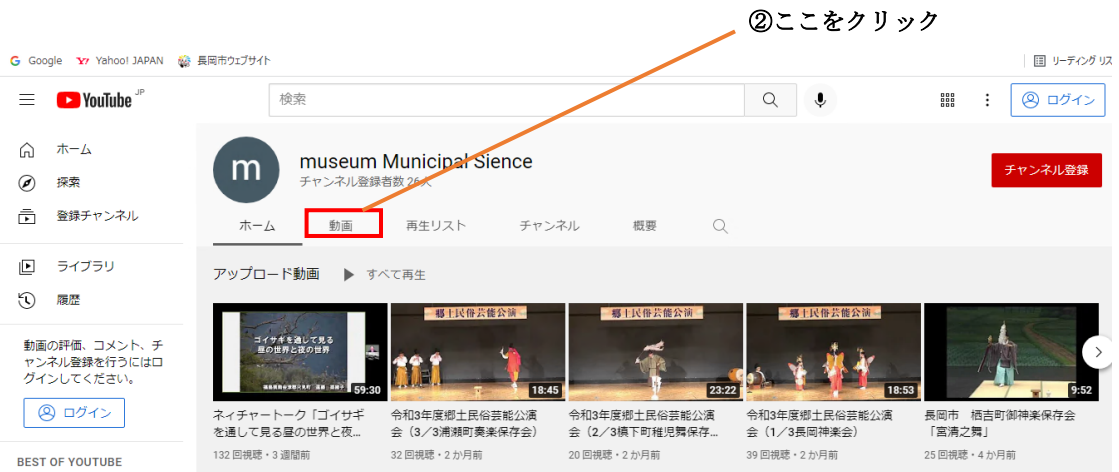
申込受付：11月8日（月）から26日（金）まで

郷土民俗芸能動画の配信について

令和3年度郷土民俗芸能公演を、YouTube 上での動画配信により実施しました。
これまで収録した郷土民俗芸能の動画データについても、併せてアップしております。



△科学博物館ホームページ



③見る動画を選択

